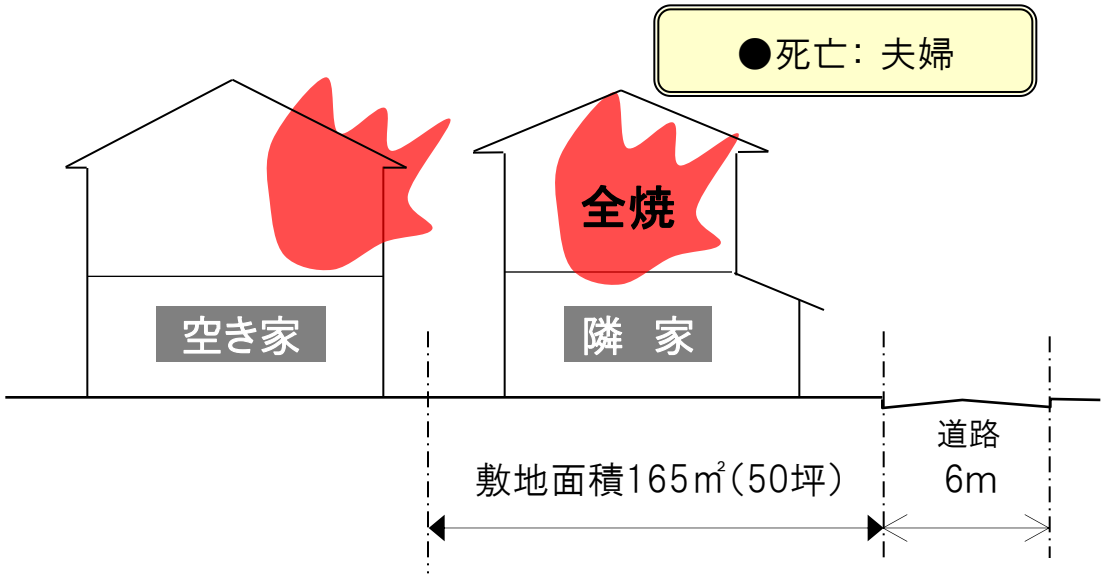
空き家発生による外部不経済の損害額の試算結果（その１）

■火災による隣接家屋の全焼・死亡事故（想定）

損害区分		損害額（万円）
物件損害等	住宅	900
	家財	280
	焼失家屋の解体・処分	135
	小計①	1,315
人身損害	死亡逸失利益	800
	慰謝料	4,000
	葬儀費用	260
	小計②	5,060
合　計①＋②		6,375

【試算の前提とした被害モデル】



○所在地　　：東京都（郊外）
○敷地面積　：165㎡（50坪）
○延べ床面積：　83㎡（25坪）
○建築時期　：平成4年（築後20年）
○居住世帯　：世帯主：74歳（無職）
　　妻　　：69歳（無職）
※夫婦の何れも国民年金を40年完納

【試算方法】

・物件損害は、国税庁の指示文書「東日本大震災に係る雑損控除の適用における（損出額の合理的な計算方法について）」（平成23年4月27日）や環境省の「廃棄物処理費の算定基準、倒壊家屋等の解体工事費の算定基準」（平成23年8月19日）、「建設施工単価(H24年1月)」（(一財)経済調査会）等に基づき、独自に試算

・人身損害は、「交通事故損害算定基準－実務運用と解説－（平成24年2月23日改訂）」（(財)日弁連交通事故相談センター）等に基づき、独自に試算